

2019.3.12 山城

第 141 回 『フェキソフェナジン塩酸塩 DS』

東和薬品株式会社 高橋陽知さま

参加者：高柳、前田、樋口、番場、山城

花粉症の季節は、鼻や目などのつらい症状が勉強や運動といった活動を低下させ、日常生活に大きな支障を与える。

正しい治療で花粉症の症状をしっかりと抑えることが大切である。

【効能/効果】

アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、アトピー性皮膚炎）に伴うそう痒

【用法用量】

[成人]

通常、成人にはフェキソフェナジン塩酸塩として1回 60mg（ドライシロップとして 1.2g）を1日2回、用時懸濁して経口投与する。なお、症状により適宜増減する。

[小児]

通常、12歳以上の小児にはフェキソフェナジン塩酸塩として1回 60mg（ドライシロップとして 1.2g）、7歳以上12歳未満の小児にはフェキソフェナジン塩酸塩として1回 30mg（ドライシロップとして 0.6g）を1日2回、用時懸濁して経口投与する。なお、症状により適宜増減する。

通常、2歳以上7歳未満の小児にはフェキソフェナジン塩酸塩として1回 30mg（ドライシロップとして 0.6g）、6ヵ月以上2歳未満の小児にはフェキソフェナジン塩酸塩として1回 15mg（ドライシロップとして 0.3g）を1日2回、用時懸濁して経口投与する。

【特徴】

第2世代の抗ヒスタミン薬である。第2世代の特徴は、ヒスタミン受容体に対する選択性が高く、抗コリン作用などの作用が減弱されている。第1世代に多い口の渇きや排尿障害などの副作用がほとんどみられない、非鎮静性である。眠気が出にくいいため車の運転をふくめ眠気に関する制限事項がない。アレルギー性疾患に幅広く用いられるようになり比較的速効性がり、持続時間も長い。とくに、くしゃみや鼻水に効果が高く、鼻づまりや目

のかゆみにも効く。アトピー性皮膚炎に対しては、かゆみの軽減効果を期待して処方されている

【副作用】

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

重大な副作用（頻度不明）

①ショック、アナフィラキシーショック、アナフィラキシーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、呼吸困難、血圧低下、意識消失、血管浮腫、胸痛、潮紅等の過敏症状があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

②肝機能障害、黄疸 AST（GOT）、ALT（GPT）、 γ -GTP、ALP、LDH の上昇等の肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い異常が認められた場合には、投与を中止し、適切な処置を行うこと。

③無顆粒球症、白血球減少、好中球減少無顆粒球症、白血球減少、好中球減少があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

おもな副作用は頭痛（4.7%）、眠気（2.0%）、吐き気（1.1%）などですが、副作用の発現率はプラセボ（にせ薬）と差がなかった

【禁忌】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【重要な基本的注意】

1.本剤を季節性の患者に投与する場合は、好発季節を考えて、その直前から投与を開始し、好発季節終了時まで続けることが望ましい。

2.本剤の使用により効果が認められない場合には、漫然と長期にわたり投与しないように注意すること。

【相互作用】

<併用注意>

制酸剤（水酸化アルミニウム・水酸化マグネシウム含有製剤）

本剤の作用を減弱させることがあるので、同時に服用させないなど慎重に投与すること

エリスロマイシン

→フェキソフェナジン塩酸塩製剤の血漿中濃度を上昇させるとの報告がある。

【考察】

花粉症が滲出性中耳炎（喉や鼻の病気が慢性化して中耳に滲出液がたまり難聴を招くことがある）、副鼻腔炎、中耳炎の引き金になることや、それらの治りを悪くすることがあるため早期の治療が重要である。

10 才未満のお子様で、けいれんの既往がある場合には抗ヒスタミン薬の内服によってけいれんが誘発され易くなる。そういった患者様に脳内移行に伴うけいれんを誘発しない安全な抗ヒスタミン薬（フェキソフェナジン塩酸塩など）で処方されているか薬剤師はチェックしなければならない。また、グレープフルーツやオレンジやリンゴ等のフルーツジュースはフェキソフェナジンの生物学的利用能及び曝露を低下させることがあるため投薬時に患者へ混合するのであればヨーグルトやアイス、ココア、スポーツドリンク、お茶などと相性がいいと服薬指導しなければならない。

【質疑応答】

Q1：なぜ分包品があるのにバラ包装があるのか？

→他剤と混合したいという希望が出たから

Q2：眠気の出にくさは新薬（ピラノアやルパフィン）に比べると？

→2011年までのデータしかないので比べることができない

Q3：先発品がストロベリー味なのに対し、本剤は何味なのか？

→ストロベリーヨーグルト味、苦い原末のマスキングに適しているので先発品より飲みやすい